

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

書籍店舗を核とした複合商業施設を新設する。(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成29年9月22日		
店舗	店舗名称	MiO香久山 con*te	
	店舗所在地	日進市香久山4丁目201-3	
設置者	名称	株式会社中部新都市サービス	
	代表者	代表取締役 小野沢 透	
	住所	名古屋市千種区覚王山通八丁目70番地1	
	その他	なし	
小売業者	名称	株式会社三洋堂ホールディングス	
	代表者	代表取締役 加藤 和裕	
	住所	名古屋市瑞穂区新開町18番22号	
	その他	未定	
店舗面積	2,418 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	106 台 (指針台数: 103 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	75 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	115 m ²
	廃棄物保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	18.99 m ³
施設の運営	営業時間	開店	24時間(一部午前9時)
		閉店	24時間(一部午前2時)
	駐車場利用時間帯		24時間(一部午前8時30分から午前2時30分まで)
	駐車場出入口	数	4箇所
		位置	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯		24時間(一部午前6時から午後10時まで)
新設する日	平成30年5月23日		

3 参考事項

敷地面積	8,134 m ²		
建築面積	A棟:1451m ² 、B棟:200m ²		
延床面積	A棟:2,575m ² 、B棟:200m ²		
業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	近隣商業地域	—	—
備考			

MiO香久山 con*te

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	市からの要請があった場合には、対応を協議させていただきます。
(2) 深夜営業の対応	夜間は静穏に努めます。ご意見を頂いた場合について誠意をもって対応致します。
(3) 住民説明会の開催	大規模小売店舗立地法届出後2か月以内に開催致します。
(4) テナントの履行確保	テナントの履行確保に努めます。
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命致します。
(6) 予測乖離時の措置	関係行政機関と協議の上、指針に沿った合理的な措置を講じます。
(7) 通年の臨時措置	繁忙時には交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	混雑状況に応じて交通整理員を適宜配置致します。

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C / D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F × G
89,229人	2,418 ㎡	1,027	14.40%	2,530 m	80.00%	2.00 人	143 台	0.72	103 台

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	-	併設施設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
167 台		28 台		0 台		0 台		33 台		106 台	○

b 指針によらない「特別な事情」による算出 なし

(イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
423 ㎡	17.5%	103 台

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
134 台		28 台		0 台		0 台		106 台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車台数	ピーク1hの来台車数
2箇所	0箇所	0箇所	0箇所	143 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

種別	1	収容台数		歩行者動線		騒音配慮	駐車場の平面化		排ガス配慮	アイドリングストップ		
		出入口数	道路種別	道路幅員	歩道		交差点距離	駐車待スペース		予測来台車数	道路形態	入出庫方法
駐車場①	東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南	1箇所	市町村道	15m	あり	39m	0m	49台	双方向	右左折混合	なし	○
	北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置		年間を通して混雑する時期のみ配備										

種別	1	収容台数		歩行者動線		騒音配慮	駐車場の平面化		排ガス配慮	アイドリングストップ		
		出入口数	道路種別	道路幅員	歩道		交差点距離	駐車待スペース		予測来台車数	道路形態	入出庫方法
駐車場②	東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	1箇所	市町村道	20m	あり	20m	0m	94台	双方向	左折のみ	なし	○
	南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置		年間を通して混雑する時期のみ配備										

評価	駐車場の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
○	○	○	○	○	○

MiO香久山 con*te

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

(ア)交差点需要率等の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
交差点A 香久山	需要率	0.223	0.266	○	0.209	0.253	○
	将来交通量/可能交通容量	0.399	0.472	○	0.337	0.408	○
	ピーク時間帯	14時台			18時台		
交差点B 香久山北	需要率	0.468	0.558	○	0.496	0.584	○
	将来交通量/可能交通容量	0.767	0.845	○	0.755	0.822	○
	ピーク時間帯	12時台			17時台		
交差点C 石兼	需要率	0.484	0.512	○	0.498	0.518	○
	将来交通量/可能交通容量	0.579	0.621	○	0.616	0.629	○
	ピーク時間帯	11時台			17時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

開店時等の繁忙期においては交通整理員を配置し、スムーズな入出庫を促します。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	A棟南側、B棟東側
駐輪場の収容台数	75台
標準収容台数	70台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	—
位置及び箇所	駐輪場と共用します。		

位置評価	台数評価
—	—

キ 荷捌施設の整備等

(ア)荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	一部混在	115㎡	あり	20分	2台	4台	○

(イ)計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~7:00	4台	12:00~13:00	3:00~4:00	なし	必要なし	○

ク 経路の設定等

(ア)車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置なし	チラシ配布	回避	非回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
確保なし

※非配備の場合等の対応

開店時の状況を見て交通整理員配置計画を小学校と協議します。

MiO香久山 con*te

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	配慮あり

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	あり	

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	-
西方向	20 m	なし	来客車両	なし	なし	-
南方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	9 m	9 m	荷捌き・廃棄物収集車両	なし	なし	-

遮音壁の影響	遮音壁設置なし
--------	---------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	あり
荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばき施設を適正な位置に配置し、十分な作業スペースを確保
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、作業員への騒音防止意識の徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入、必要最小限の稼働
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入、必要最小限の稼働
駐車場からの騒音配慮	アイドリングストップの呼びかけ
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	定期的なメンテナンスにより経年劣化を防ぎます

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	なし
運営面の騒音配慮	なし

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	35	排気口	26										
		冷凍機室外機	2	キュービクル	2										
変動騒音	自動車走行	○	後進警報ブザー	○											
	ゴミ収集作業	○													
衝撃騒音	荷さばき作業	○	台車走行	○											
建物の構造(高さ)		鉄骨造2階屋上建(12m)													

MiO香久山 con*te

(ア)等価騒音レベル予測

		北西(A)	北(B)	北(C)	北(D)
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	41.8 dB	44.2 dB	49.6 dB	53.4 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	39.0 dB	40.6 dB	42.3 dB	39.8 dB
	評価	○	○	○	○
用途地域		北(E)	北東(F)	南西(G)	西(H)
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第1種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.7 dB	42.7 dB	42.8 dB	41.3 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	38.0 dB	36.3 dB	41.4 dB	39.9 dB
	評価	○	○	○	○
用途地域		北(E)	北東(F)	南西(G)	西(H)
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第1種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.7 dB	42.7 dB	42.8 dB	41.3 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	38.0 dB	36.3 dB	41.4 dB	39.9 dB
	評価	○	○	○	○
用途地域		北(E)	北東(F)	南西(G)	西(H)
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第1種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.7 dB	42.7 dB	42.8 dB	41.3 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	38.0 dB	36.3 dB	41.4 dB	39.9 dB
	評価	○	○	○	○

※基準値を超えた場合の対応等

すべての予測地点において等価騒音レベルは環境基準を下回ります。なお、周辺住民から苦情等が発生した場合には、誠意を持って対応致します。

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無						無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か						
上記A・Bの具体的内容		—				
		北西(a)	北(b)	北(c)	北(d)	
用途地域		近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし	
基準値		50dB	50dB	50dB	50dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	28.3dB	29.9dB	38.7dB	41.8dB	
	評価	○	○	○	○	
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	66.7dB	61.6dB	60.5dB	54.7dB	
	評価	△	△	△	△	
用途地域		北(e)	北東(f)	南西(g)	西(h)	
用途地域		近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし	
基準値		50dB	50dB	50dB	50dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	40.3dB	44.7dB	37.1dB	31.3dB	
	評価	○	○	○	○	
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	52.1dB	37.6dB	62.6dB	83.1dB	
	評価	△	○	△	△	
用途地域		北(e)	北東(f)	南西(g)	西(h)	
用途地域		近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	近隣商業地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし	
基準値		50dB	50dB	50dB	50dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	40.3dB	44.7dB	37.1dB	31.3dB	
	評価	○	○	○	○	
県	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	52.1dB	37.6dB	62.6dB	83.1dB	
	評価	△	○	△	△	

MiO香久山 con*te

(ウ)夜間における騒音ごとの予測(保全対象側)

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無						無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か						
上記A・Bの具体的内容		—				
		北西(A)	北(B)	北(C)	北(D)	
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし	
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	25.7dB	29.9dB	37.2dB	36.4dB	
	評価	○	○	○	○	
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	52.4dB	49.3dB	57.8dB	55.1dB	
	評価	△	△	△	△	
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当	
		北(E)	北東(F)	南西(G)	西(H)	
用途地域		第1種中高層住居専用地域	第1種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第1種住居地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし	
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	35.6dB	37dB	34dB	24.6dB	
	評価	○	○	○	○	
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	51.8dB	40dB	58dB	57.6dB	
	評価	△	○	△	△	
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当	

※基準値を超えた場合の対応等

敷地境界上にて全ての地点で基準値を超過したため、保全対象側にて再度予測し、定常騒音の騒音レベルについては全ての地点で基準値を下回りました。また、予測地点g及びhの保全対象付近にて現況の騒音測定を行った結果、L5で60.3dBとなり、予測値を上回る測定結果となったため、計画地西側への騒音については現況から大きく変わるものではないと予測致します。

しかし、計画地北側については、なお来客車両走行音及び荷さばき作業音の予測値が現況騒音を上回ります。そこで、22時以降の駐車場②の一部及び駐車場③の利用を制限するとともに、入居予定のコンビニチェーンの運用実態に即した荷さばき作業音等の実測値を用いて再予測を行った結果、それでも現況騒音を上回る事となった22時台、0～2時台、5時台については、荷さばき作業を行わない運用と致します。これらの対策を行うことにより、計画地北側への影響は小さくなると思えます。

なお、周辺住民から苦情等が発生した場合には、誠意を持って対応致します。

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	生ごみは密閉容器で保管します。
衛生問題関係配慮	食品加工場はございません。

MiO香久山 con*te

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	5.63 m ³	1日	0.503 t	0.10 t/m ³	5.03 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用	1.50 m ³	1日	0.017 t	0.10 t/m ³	0.17 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用	1.50 m ³	1日	0.015 t	0.10 t/m ³	0.15 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用	5.25 m ³	1日	0.048 t	0.01 t/m ³	4.80 m ³	変更なし	○
生ごみ用	3.00 m ³	1日	0.409 t	0.55 t/m ³	0.74 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用	2.11 m ³	1日	0.131 t	0.38 t/m ³	0.34 m ³	変更なし	○
合計	18.99 m ³	-	-	-	11.23 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	他店舗での実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等 該当なし

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

小売店舗と別途確保

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

該当なし

(ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	なし
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

<ul style="list-style-type: none"> 空缶、ペットボトル等の回収箱を設置します。 自動販売機の横に空き缶回収箱を設置します。
--

(エ)廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	極力段差のない構造とする。
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	毎日搬送
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増やす
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

MiO香久山 con*te

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	なし
併設施設からの悪臭防止対策	なし

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	・周囲に合わせた外観・色彩計画とする。
	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地の清掃を行う。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する	
照明等の配慮	夜間の屋外照明は近隣の住居に直接あたらないように配慮する	
敷地内の緑地計画	緑地設置無し。	

評価
○

市町村の意見概要	対応
【駐車需要の充足等交通に係る事項】 ・CD、DVD等の夜間回収箱の設置位置について、返却のために周辺道路に路上駐停車が発生しないよう留意願います。 ・日進香久山西部土地区画整理事業が平成29年8月に認可されました。新たな宅地及び道路計画がありますので、将来交通量推計の際には、香久山西部地区の宅地及び道路計画を見込んだ推計値としてください。	・CD、DVD等の夜間回収箱の設置位置について、返却のために周辺道路に路上駐停車が発生しないよう留意します。 ・日進香久山西部土地区画整理事務所に確認したところ、現時点で発生交通予測等が行えていないため、本大規模小売店舗立地法手続きにおいて区画整理事業に伴う交通予測は困難でございます。
【騒音の発生に係る事項】 ・空調機、冷凍機等、屋外に騒音発生設備が相当数配置されていますが、周辺住宅に対しどのような配慮、対策がされているか確認を希望します。	・設備機器騒音については、騒音予測を行い、周辺の住環境への影響を極力小さくするよう配置について配慮し、開店後に定期的なメンテナンス等の対策を行います。

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見案 意見なし

県の意見に至る考え方 指針配慮事項に対する設置者の対応は概ね妥当であり、また、日進市長から意見が提出されているものの、それに対する設置者の対応に特に問題はないと考えられる。
